

令和2年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

# 科目名：経済政策

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに1出題分野ずつ、計3ページで3出題分野ある。

1. 経済政策
2. 社会政策
3. 財政学

3出題分野から2出題分野を選んで解答すること。

1出題分野につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名を記入すること。

科目名 経済政策 出題分野名 経済政策

以下の問題に解答しなさい。

市場経済における外部性(外部経済および外部不(負)経済)について、その定義を述べ、それが存在する場合の政策について経済学がどう語ってきたかを述べ、外部性の現実の例を挙げ、その例について採られてきた現実の政策について、経済学が語ってきたことと対比しながら論じなさい。

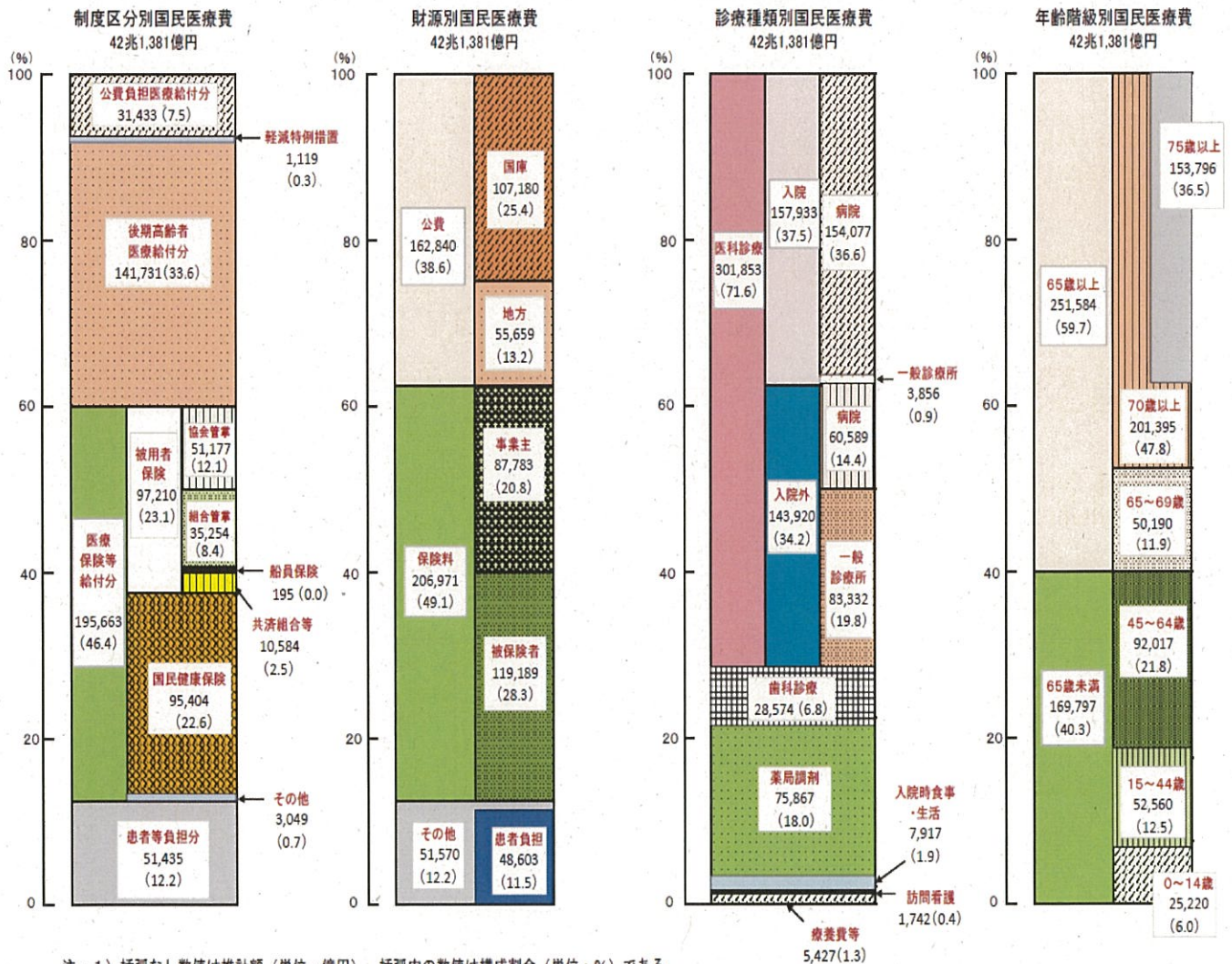
下図の「国民医療費の構造」を参考としながら、以下の問題すべてに解答しなさい。

(1) 日本の公的医療制度について説明しなさい。

(2) 日本の医療の特徴について示したうえで、今後進めるべき政策について論じなさい。

(参考1)平成28年度 国民医療費の構造

[国民医療費総額 42兆1,381億円、人口一人当たり国民医療費 332,000円]



注：1) 括弧なし数値は推計額（単位：億円）、括弧内の数値は構成割合（単位：%）である。  
 2) 制度区分別国民医療費は平成28年度内の診療についての支払確定額を積み上げたものである（ただし、患者等負担分は推計値である）。

出所：厚生労働省HP：平成28年度 国民医療費の概況

科目名 経済政策 出題分野名 財政学

以下の問題1・問題2に答えなさい。

**問題1** 日本の社会保障制度の主要3分野(年金、医療、介護)の財源は、保険料、租税、そして利用者負担からなっている。日本の社会保障制度の財政方式の特徴を説明し、その長所と短所(課題)を論じなさい。

**問題2** なぜ、OECDでBEPS(「税源浸食と利益移転」)プロジェクトを進めなければならなかったのか。経済のグローバル化が税制に与える影響と関連付けて、説明しなさい。